



岡山市連合町内会会報

第32号

平成30年9月発行

発行人：久世英一 編集委員長：長門修二

〒700-8544 岡山市北区大供一丁目1-1 TEL:086-803-1063 FAX:086-803-1872

ホームページ簡単検索

岡山市連合町内会会報

検索



第32号の発行に寄せて



岡山市連合町内会
会長 久世 英一

新秋の候、町内会関係各位におかれましては益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

7月には近年例のない大雨により甚大な豪雨災害が発生しました。岡山市においては、各地域が被災を受けました。被害を受けられた地域の皆様に、心よりお見舞い申し上げますとともに、一日でも早い復興を願っています。

平素から各地域の住民の皆様が安全で安心して暮らせるまちづくり、ならびに地域の活性化を目指し、それぞれの団体と共に日々ご活躍いただき、心より感謝申し上げます敬意を表する次第でございます。

私儀、昨年6月に岡山市連合町内会会長という大役に就任し、1年余りたち、その間皆様のご指導、ご協力により少しずつではありますが前進できたと思っています。

今年度も、昨年度と同様に市担当部局との懇談を行い、町内会と行政との相互理解と協力関係のより一層の充実を図り、また、行政、産業界、教育界などの各種団体と交流、連携を推進し、地域課題の解決に向け

て頑張っていこうと思っています。

昨今、町内会等への加入率が、低下傾向に推移していることを鑑み、魅力ある町内会活動をホームページ等に紹介するとともに、他団体との連携により未加入者への加入促進活動をしていきます。

来年2月に予定しています岡山市町内会長等懇談会は、今までにない内容、進行を考え計画して、皆さんの参加をお待ちしています。

私は各地区で行われた行事に参加して、地域住民の皆さんと交流をさせていただき、皆さんの気持ちをこの肌を感じさせていただきました。これからも益々地域行事などに参加し、皆さんと楽しく交流し、地域の絆を大切にしていきたいと思っています。

終わりにになりますが、これからも安全で安心な住みよいまちづくりに頑張っていきたいと思っています。

皆さん「みんなで仲良く、楽しく」やりましょう。



活動紹介の様子



夏まつりでのバルーンアートの様子

会報第32号 目次

第32号の発行に寄せて	1
役員紹介 新役員抱負	2
平成30年度定期総会概要	3
平成30年7月豪雨災害について	5
市長との懇談会	6
岡山商工会議所との懇談会	6
姫路・鳥取・岡山三市姉妹交流会について	7
内山下小学校の復活について	8
学区・地区の話題	
御津南、平井	9
豊、曾根	10

コラム	
桃丘、旭操	11
角山、妹尾	12
芳泉	13
女性の力で地域を元気に！	13
電子町内会 利活用コンテスト2018春	14
平成30年度岡山県自治会連合会定期総会及び 全国自治会連合会理事会等について	14
岡山市連合町内会の動き	15
岡山県自治会連合会の動き	
全国自治会連合会の動き	
クイズ	16
編集後記	16

★★★★役員紹介★★★★

会 長	久 世 英 一	理 事	中 原 一 郎	理 事	谷 多 賀 巳
副 会 長	多 賀 克 充	理 事	分 島 良 俱	理 事	深 井 忠 夫
副 会 長	伊 永 高 明	理 事	村 岡 鹿 次	理 事	西 谷 萬 二
副 会 長	永 見 勝	理 事	國 吉 利 博	理 事	樋 口 正 信
常任理事	岸 本 戴 男	理 事	定 廣 好 和	理 事	正 保 弘 行
常任理事	加 藤 公 彦	理 事	長 門 修 二	理 事	池 田 太 郎
常任理事	渡 邊 唯 志	理 事	入 野 誠	理 事	橋 本 進
常任理事	光 岡 久 志	理 事	渡 邊 學	会 計	祇 園 茂
常任理事	伏 見 公 誠	理 事	徳 田 忠 顕	会 計	瀧 本 孝
常任理事	遠 藤 太 郎	理 事	小 橋 一 郎 新	監 事	生 内 昭 泰
理 事	松 浦 満	理 事	人 見 亨	監 事	大 塚 勝 行 新
理 事	岸 本 俊 男	理 事	渡 邊 光 章	相 談 役	目 黒 宏 平
理 事	大和田 黎 子	理 事	佐 近 正 春		
理 事	田 中 修 生	理 事	竹 井 秋 人		

新役員抱負

新理事 小橋 一郎（富山学区）

この度、理事に就任いたしました富山学区の小橋です。富山学区では、「目指そう文化と福祉のまちとみやま」をスローガンに「高齢者等支援」、「子ども子育て支援」、「地域コミュニティの充実」に取り組んでいきたいと思っています。

新監事 大塚 勝行（東畦学区）

この度監事に就任致しました東畦学区の大塚でございます。市連合町内会の一員として与えられた任務を誠実に務めてまいりますので、皆様の御力添えをお願いいたします。

W GRAND LACERE
岡山市北区柳町1-4-1
☎086-212-0888

平安祭典
岡山南会館 岡山中央会館
岡山市北区東古松3-8-18
☎086-225-1000
しあわせ生活サポート企業

ユウベル

社会福祉法人 鷺山会
介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）
岡山シルバーセンター

〒701-1345 岡山県岡山市新庄上545-1
☎086-287-5111 ☎086-287-5005

岡山シルバーデイサービスセンター
岡山シルバー在宅介護支援センター
ケアハウスゆうすてい岡山

葬儀 法要 「いい葬儀だったねえ…」
アパシホール

ホール使用料 光熱費 スタッフ費用 無料!!

あなみのアパシホール 岡山・倉敷で11ホール
JA岡山指定店
岡南福吉ホール
☎(086)902-1122
西市ホール
☎(086)244-3377
西川原ホール
☎(086)271-0011

お気軽に
お問合せ
ください!

C A M R Y N O A H COROLLA FIELDER



トヨタカローラ岡山 詳しくはホームページで!! 各店の定休日 毎週月曜日

トヨタカローラ岡山 検索

月曜日が祝日の場合は、翌日が定休日となります。
（ゴールデンウィーク・夏季休暇・年末年始を除く）

平成30年度定期総会概要

岡山市連合町内会は、平成30年5月31日午前10時からメルパルク岡山において、市内学区・地区連合町内会長等の出席のもと、平成30年度定期総会を開催しました。

はじめに、久世英一会長があいさつを述べた後、岡山市連合町内会表彰規程に基づき、永年町内会活動に功績のあった方々に対し、表彰状、感謝状及び記念品の贈呈が行われました。

【学区（地区）連合町内会長】

加茂学区	定廣	好和	陵南学区	分島	良俱
三勲学区	渡邊	盛幸	旭操学区	徳田	忠顕
幡多学区	長汐	良熊	小串学区	藤澤	正直

【単位町内会長】

深柢地区	山崎	浩三	牧石学区	須々木	壽志
伊島学区	掛	松夫	石井学区	森元	幹雄
鹿田学区	金光	京	大元学区	中川	勝義
岡南学区	遠藤	克巳	幡多学区	西崎	樫
旭竜学区	牛田	康恵	南輝学区	渡辺	邦弘
芳田学区	近藤	連	興除学区	原田	耕作

会長感謝状

角山学区
池本 浩司



謝辞を述べる 渡邊盛幸様

ご臨席いただいた大森雅夫岡山市長、田尻祐二岡山市議会副議長から祝辞をいただいた後、議案の審議に入りました。

- ①平成29年度事業報告
- ②平成29年度収支決算報告及び監査報告
- ③役員承認
- ④平成30年度事業計画（案）
- ⑤平成30年度収支予算（案）

⑥その他

慎重に審議を行った結果、いずれの議案も原案どおり承認されました。

●平成30年度事業計画

1 岡山市連合町内会の組織としての取り組み

①岡山市連合町内会の地位の向上

「市民憲章」を尊重し、地域を束ねるリーダーとしての自覚をもち、「平穏で安らぎのある地域社会」「思いやりと譲り合いの心を育む地域社会」の構築と、地縁組織の連合体としての役割を果たすべく全市的な視野での情報交換や広報活動を展開するとともに、行政等との協働による課題解決のために、必要に応じて関係機関と折衝する。

②魅力溢れる「まちづくり」や大型イベントへの参画

岡山県、岡山市等の各種審議会等へ委員を派遣し、住民生活に直結する諸問題について包括的住民自治組織の代表として、意見を開陳するとともに、岡山市区づくり推進事業審査会委員としても積極的に取り組み、区制による都市内分権型社会の推進に向けて中心的な役割を担う。民意を反映するのは町内会（自治会）であるとの自覚をもって活動を展開する。

③会員の資質向上についての取り組み

地域を統括、調整するリーダーとしての見聞を広めるため、時宜を得たテーマにより先進都市の行政や住民自治組織の活動状況等の視察を行うとともに、地域住民の多様なニーズに的確に対応できるよう研鑽に努める。

④市長、市担当部局との懇談

地域課題の解決に向けて、行政と意見交換を行い、町内会と行政との相互理解と協力関係の一層の充実を図る。

⑤産学官及び各種団体との交流・連携

幅広い視野から地域づくりのリーダーとしての活動を行うため、行政、産業界、教育界及びボランティア



さくらホール江並
岡山市中区江並88-1
☎086-277-1110



さくらホール十日市
岡山市北区十日市西町9-15
☎086-237-1234



さくらホール岡山駅前
岡山市北区駅元町5-1
☎086-898-1234



さくらホールきびつ
岡山市北区西辛川425
☎086-284-4500



さくらホール上道
岡山市東区中尾380
☎086-278-0001



西大寺さくら亭
岡山市東区久保161

平成30年
11月1日オープン!!

簡単検索 さくら祭典 検索

地元で生まれた
さくら祭典

組織などの各種団体との交流、連携を推進する。

⑥他自治会との協調

姉妹交流提携及び友好交流提携を結んでいる自治会や組織の他、全国自治会連合会や岡山県自治会連合会加盟をはじめとする他の自治会との絆を深めるとともに、課題の共有と解決に向けての意見交換に努める。

⑦広報活動の充実と市民情報化の推進

岡山市連合町内会会報を発行し、当会の事業活動の広報に努める。

また、ICT推進専門委員会を核として、市民情報化及び電子町内会の拡大推進を図る。

⑧町内会、自治会への加入促進活動

昨今、町内会等への加入率が、やや低下傾向に推移していることに鑑み、魅力ある町内会活動をホームページ等に紹介するとともに、他団体との連携により未加入者への加入促進活動を促す。

⑨岡山市町内会長等懇談会の開催と各区連絡協議会等との連携強化

当会の活動状況等を広く広報し、岡山市内の町内会役員等との情報交換及び、相互の理解と連携を深めるために岡山市町内会長等懇談会を開催するとともに、各区連絡協議会等の活動支援を行う。

⑩各種専門部会の活動強化

当会の中に設置されている各種の専門部会の活動をより活発化させ、課題解決のために、岡山市連合町内会の考えとして発信する。

⑪顕彰の実施

会長表彰・感謝状贈呈の他、叙勲、総務大臣、全国自治会連合会会長表彰、岡山市有功表彰、県知事表彰及び市長表彰等の顕彰制度に幅広く推薦を行い、功績を讃える。平成22年度創設した「れんげ賞」も継続する。

2 行政と連携したまちづくりの取組み

①子ども・子育て支援

地域の実情に合った保育や教育について、スピード感を持ってサービスが提供されるよう、積極的に行政への申し入れを行う。

②防災・防犯活動

防災訓練を各地域で積極的に実施するとともに、地域の防災対策を熟知した町内会において災害時の避難場所への誘導法や安否確認方法について情報を共有し、災害被害を軽減する対策を検討する。また、高齢者に対する特殊詐欺等、防犯に対応する活動を検討する。

③交通対策

交通の拠点都市である岡山市の公共交通のあり方について、地域の代表として積極的に意見を出しながら、人にやさしい交通のあり方を考え、地域における交通安全のための各種活動に幅広く取り組んでいく。

④男女共同参画社会の推進

女性が町内会の役員として活動しやすい環境づくりについて男女共同参画専門部会において検討する。

⑤協働のまちづくり条例の推進

地域の実情を把握している学区・地区連合町内会が、地域内で行っているESD活動等の地域活性化や課題解決への活動について、行政等と協力して支援を行う。

3 その他

①「市民憲章」を当会発行の印刷物等に掲載し普及を図る。

② 年度中途において、事業活動に繰入れるべき案件が生じた場合は、協議の上執行する。緊急を要する場合は持回り会議等において対処し、次回の理事会等へ報告する



定期総会の様子

JA岡山

地域に密着し、
地域に根ざし、
地域とともに歩む。

JA岡山は地域貢献活動に取り組んでいます。

岡山市農業協同組合

〒700-8535 岡山市北区大供表町1番1号
TEL. 086-225-3251 / FAX. 086-225-9878
URL: <http://www.ja-okayama.or.jp/>

岡山商工会議所

会 頭	岡 崎 彬
副 会 頭	中 島 基 善
副 会 頭	石 井 清 裕
副 会 頭	梶 谷 俊 介
副 会 頭	高 谷 昌 宏
専務理事	高 橋 邦 彰

妹尾産業有限会社 家庭でのお悩み解決します。

し尿収集運搬・浄化槽保守点検清掃・排水管洗浄
排水設備設計施工・産業廃棄物収集運搬

不要の電化製品 排水洗浄 バイオ式 トイレのつまり
粗大ゴミの回収 トラブル解消 生ゴミ処理機 循環型社会

〒701-0206 岡山市南区箕島 1306-26 見積り無料
TEL (086) 282-0521 FAX (086) 282-0647

車検・修理・钣金塗装
各種自動車販売

Senō Motors

妹尾モーターズ 岡山市南区妹尾 1027-7
TEL (086) 281-0108
FAX (086) 281-0188

平成30年7月豪雨災害について

平成30年7月の台風7号及び梅雨前線等に伴う大雨により、各地で人的被害をはじめ家屋の倒壊等の甚大な被害が発生しました。激甚災害にも指定されたこの豪雨災害は、岡山市においても7月5日から3日間連続して大雨が降り続き、大きな被害をもたらしました。

○岡山市の被害発生状況（平成30年8月31日現在）

人的被害

区 分	
死 者	2名（総社市で死亡）
行方不明者	0名
負 傷 者	4名（軽傷）

住家被害

区 分	北 区	中 区	東 区	南 区	合 計
床 上 浸 水	1,684	21	1,569	4	3,278
床 下 浸 水	3,648	33	661	47	4,389
土 砂 等	33	1	1	1	36
合 計	5,365	55	2,231	52	7,703
内 全 壊	12				12

どの学区でも浸水被害、土砂災害などが発生し、各学区・地区の連合町内会及び町内会の多くの方が、地域の安否確認や避難誘導、避難所運営の手助けなどに尽力しました。

また、復旧のためには多くのボランティアが必要とされることから、岡山市連合町内会としても各学区・地区へボランティアを募るなど、少しでも早い復旧に取り組みました。

なお、7月11日から8月31日までの岡山市災害ボランティアセンターの延べ活動人数は、北区で1,552名、東区で6,526名でした。ご協力を頂いた皆様に心からお礼申し上げます。

今後は災害ゴミの処理や被災者の生活再建、河川の改

修など、多くの問題が山積していることから、岡山市連合町内会としても行政への積極的な働きかけや協力を行い、少しでも早い復旧を目指していきたくと考えています。

今回は岡山市が直接被害を受けているため、各学区・地区からの義援金の取りまとめは行わず、岡山市連合町内会の予算から、岡山市ボランティアセンターを運営している社会福祉協議会に対して寄付することとし、8月7日に義援金を30万円ではありますが、寄付させていただきました。



砂川の様子※1



平島学区の様子※1



ゴミ集積所の様子※1



北区ボランティアセンターの様子※1



東区ボランティアセンター・つなぐの木



社会福祉協議会への寄付の様子

※1 岡山市提供

おいしいデザートのお菓子をどうぞ・・・



株式会社ドンレミー 岡山工場
岡山市南区藤田 566-276 ☎ 086-250-0511
ドンレミーアウトレット岡山店
岡山市南区藤田 566-276 ☎ 086-296-2871

地域とともに 未来を拓く

藤田団地事業協同組合
一般社団法人藤田団地管理組合
藤田団地汚水処理施設管理組合
藤田企業団地自治会

〒701-0221 岡山市南区藤田564番地166
電 話 086-296-0020
FAX 086-296-0021

「本物」にこだわる豊かな味わいと香り、キミセ醤油。



キミセ醤油

本 社／岡山市南区藤田217 営業所／真庭・福山・東広島・山口・坂出
TEL.(086)282-0200 FAX.(086)281-4158
<http://www.kimise.co.jp/>

市長との懇談会

岡山市連合町内会 副会長 永見 勝

7月18日、市役所会議室にて、市長と連合町内会役員とで懇談会を開き、4つのテーマについて意見交換を行いました。

- ①町内会から、いろいろな要望書が出されているが、返事が返ってこない状況が続いており、文書でも口頭でもよいので回答してほしいという意見が出ました。
これに対して、市長からは何らかのかたちで回答するのが筋だと江田局長から庁内に流すと回答がありました。
- ②乳幼児や児童への虐待や犯罪を未然に防ぐにはどのようにしたらよいか話し合いました。虐待を発見したら、遠慮せずに189番へ通報する。各区に「虐待協議会」のようなものを設置すると情報が伝わりやすいのではないか。児童相談所への親からの相談では、子どもの夜泣きについてが一番多いことから孤立している親の実態がわかる。学校、児童クラブ、家庭が連携を取っている地域の紹介など活発な意見が出ました。
- ③地域格差にどのように対応できるかというテーマでは、市の権限をもう少し各区に分散させて各区で独立できる状況を作してほしい。地域格差の問題は、人口減少問題にも直結し、公共交通、学校の統廃合等の問題がでてくるので、市長が言われる「コンパクトシティ」はいいことだと思うが、今後はコンパクトシティをつなぐセーフティネットが必要となってくる。また、これからは公共交通にお金を使っていかなくてはいけないが、業者間の調整やタイミングが難しいなどが出ました。
- ④地域の安全・安心については、今回の災害においては安全・安心ネットワークも大いに活動したが、その活動支援金が5万円では苦しい実情があるとの意見がありました。今回の反省を踏まえて、安全・安心ネットワーク総会で協議したいなどの内容でした。今後も意見交換を行い連携を図ることを確かめ懇談を終了しました。



市長との懇談会の様子

岡山商工会議所との懇談会

岡山市連合町内会 副会長 多賀 克充

日時：平成30年8月9日（木）、場所：岡山商工会議所

出席者：岡山商工会議所会頭他4名、岡山市連合町内会会長他3名

4つの項目について意見交換を行いました。紙面の関係上、一部の意見を紹介します。

【豪雨災害】 豪雨災害に被災された皆様にお見舞い申し上げます。

●豪雨災害を教訓として、自宅から避難場所が遠いということが挙げられます。民間の建物を避難場所にできるように協力を求めているかどうかとの意見がありました。

●避難準備、避難勧告や避難指示などがあり、避難するタイミングが難しいという意見が出ました。

【公共交通】

●市民会館ができれば公共施設が完成するので、路面電車を環状化するのがよいとの意見がありました。

【6月1日岡山市民の日】

●岡山市政が始まった6月1日を「市民の日」としてシンポジウムなどを行っており、岡山市連合町内会も協力をお願いしたいとのことです。自分の町に誇りを持ち、岡山の歴史や文化をもっと知り、語るようにしていきたいと思います。

【中学生・高校生の町内会行事参加】

●学校は地域に開かれたところにすべきですが、町内会行事に参加する中学生・高校生が地元行事に参加する率が低いのが実情です。学校と地域をつなげられることを増やしていきたいと思います。



岡山商工会議所との懇談会の様子



社会医療法人 - 救急指定病院 -

光生病院

(公財)日本医療機能評価機構認定病院

理事長・院長 佐能量雄

☎(086)222-6806 (代)

〒700-0985 岡山市北区厚生町3丁目8番35号

バス：JR岡山駅より倉敷方面行き光生病院前下車

タクシー：JR岡山駅・天満屋より約5分

内科 外科 脳神経外科 整形外科 形成外科 呼吸器内科
循環器内科 消化器内科 心臓血管外科 神経内科 心療内科
リハビリテーション科 皮膚科 放射線科 泌尿器科 麻酔科
ペインクリニック内科 眼科 歯科

■受付時間

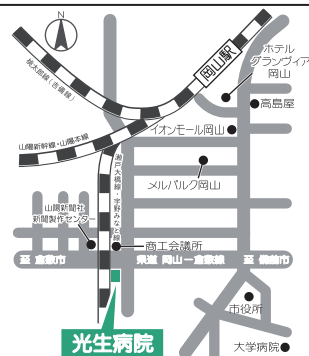
午前 8:30～11:45
午後 12:30～16:30

■診察開始

午前 9:00～
午後 13:00～

■休診日

土曜午後・日曜日・祝日
急患は、24時間受け付けます。(内科・外科)



姫路・鳥取・岡山三市姉妹交流会について

【三市姉妹交流会の概要】 姫路市連合自治会と鳥取市自治連合会及び岡山市連合町内会は、ともに江戸時代に池田家を藩主としていたことから、姉妹交流提携を結び、平成19年度から、毎年交流会を開催しています。同様に行政にも「姫路・岡山・鳥取城下町物語推進協議会」があるようですが、この住民自治組織による三市姉妹交流は、共通の課題や、その土地ならではの話題などで意見交換を行ったりして連携を深めるなど、行政主導ではない住民自治組織による広域連携に繋がっています。



【姫路市】 本格的な人口減少と超高齢化・核家族化社会を迎え、住民自治組織の活動及び運営は今後ますます、困難になるものと思われます。

このような流れの中で池田侯の縁による岡山・鳥取・姫路三市姉妹交流会は、毎年三市の持ち廻りにより開催しており、それぞれが抱える課題についての意見交換や特色ある取り組みについての発表に加え、各市の先進的な施設を視察できる大変有意義な交流となっております。この交流により得られた情報等を活かし、少しでも住民自治組織の活性化が図れればと思っております。

姫路市連合自治会 会長 大野 幸一



【鳥取市】 本年度より会長に就任しました南部 敏と申します。皆様のご指導ご鞭撻賜りますようよろしくお願い申し上げます。

さて、池田の殿様の縁で岡山、姫路、鳥取、三市交流会が十年以上にわたり継続され、各地域発展の為に残した功績は誠に大で、今後益々充実し以前にも増し関係強化を図っていく事が大事なことと思います。

今、社会環境は大きく多様化しさまざまな問題が起こっています。特に少子高齢化、人口減少問題は、自治会加入率の低下、役員になり手がなく、又任期1年で交代するなどいろいろ課題を投げかけております。このようなこと等について三市で又ご議論出来る機会があればと思っています。

この度の『岡山市連合町内会会報第32号』発刊誠にありがとうございます。岡山市連合町内会様の益々のご発展を祈念申し上げます。

鳥取市自治連合会 会長 南部 敏



【岡山市】 姫路・鳥取・岡山の三市姉妹交流会は、行政主導ではなく、住民自治組織主体の交流として10年以上続けられています。このような交流会は全国的にも珍しく、交流内容も自治会課題への意見交換だけでなく、青谷上寺地遺跡やあしもり学園の視察、姫路城の改修講座など幅広く行われ、この交流会でなければ気づかなかったことも数多くあり、参加者全員の資質向上につながっていると思います。この交流が今後も末永く継続され、お互いの地域への理解を更に深め、地域のPRに寄与できれば良いと思っています。

岡山市連合町内会 会長 久世 英一

岡山協立病院 透析センター



地域の要望に応え、2017年10月にリニューアルオープンしました。病床数は35床へ増床。「ゆったりした空間」で快適な療養環境を提供し、要介護者、寝たきり状態の方にも対応します。

暮らしの中で困ったときは、

「なんでも相談窓口」をご利用下さい。

例えば？

●どこに相談してよいかわからない。

●医療費のことで相談したい。

●医療・福祉・年金・保険（社会保障制度）制度を活用したい。

●介護のサービスを利用したい、制度を知りたい。

●退院後の療養生活についての不安。

まずは事前に、お電話で問い合わせ・相談下さい。

Tel. 086-271-0976（受付時間：月～金 9:00～16:00）



岡山医療生活協同組合

総合病院 岡山協立病院

〒703-8511 岡山市中区赤坂本町8番10号
Tel.086(272)2121 Fax.086(271)0919
ホームページ: <http://www.okayama-kyoritsu.jp>
E-mail: kyoritsu@okayama-health.coop

岡山協立病院にありません



内山下小学校の復活について

南方地区連合町内会
会長 小野 大作

昨年平成 29 年 5 月 22 日に私ども岡山市中心部五連町会として、岡山市長・教育長に対し現在廃校となっている、内山下小学校をせめて分校として復活してほしい、という要望書を提出しました。

ところが市長・教育長共にこの案件については将来的に人口・生徒数の減の予測があり、また、中央小学校の生徒数は向こう 10 年 850 人規模で推移し、その後減少するという見方があり、学校再建については否定的です。

現時点で中央小学校は 870 人規模の学校であり、これを旧内山下・深柢それに出石地区を入れた子供を内山下小学校に入れるとすれば 370 人程度になるかと思えます。したがって中央小学校は 500 人くらいになるのではないかと思います。

ただ、この想定人数を基に考えてみても、現時点での 5 小学校区に都市再開発計画が 11 案件出ています。そのうえ、出石地区だけでも民間のマンション計画が 20 件申請が出ています。

岡山県下でも唯一人口が増える地域であろうかと思えます。

もし内山下小学校が復活すれば、その中に今年 3 月でなくなってしまった中央公民館も併設した、地域における防災拠点となりえます。

また、小学校についても英語特区・イマージョン教育をする、といったような将来的に見ても学童数の減らないような特色のある学校運営を考えて行ってもらいたいと思います。

建物については、現在の校舎を壊して新校舎を建てるのではなく、築後 80 年たっている校舎を生かし、内部へ「カスガイ」を打つなど、外観はそのまま利用し内装だけきれいにリニューアルされるだけで充分使えます。

幸いにも校舎が建っているところは、岡山でも一番頑強な岩盤の上に立っているのです、地震にも十分対応ができると思えます。

内山下小学校の歴史は古く、明治 20 年に高等岡山小学校として開設され、同 23 年に現在地に仮設され、明治 33 年に本館新築落成。後明治 41 年に内山下尋常高

等小学校として改称されています。そして昭和 22 年に岡山市立内山下小学校となるわけです。

その間明治天皇が臨幸され、昭和天皇、皇太子と行幸・行啓され、後に校友の岸 信介総理大臣も来校されるといった輝かしい歴史を持った小学校です。

岡山市の中心部で、しかもこのような歴史のある小学校を人数合わせだけで永遠に廃校にするのではなく、是非この地に特色ある小学校を復活させていただきたい、と私ども五連長会としまして強くお願いをしています。



岡山城西丸西手櫓



相撲場



日露戦争記念樹



池田光政公御居間址の碑



明治天皇臨幸記念碑

スーパーミラクルイリュージョン
木下大サーカス®

年間 120万人 動員
社会福祉事業協賛

写真は全てイメージです



木下サーカス株式会社

本社：岡山市北区表町 3-2 3-2 3
TEL 086-231-0411 FAX 086-231-4972
<http://www.kinoshita-circus.co.jp>

'18 9月15日(土)・11月26日(日) 柏市大島田 セブンパークアリオ柏 特設会場

'18 12月8日(土)・'19 3月11日(日) 大阪駅前うめきた 特設会場
グランフロント西

地域の活性化を目指す取り組み

母谷区自治会
会長 大智 克喜

母谷（ほうだに）は岡山空港近くの山合に位置する82世帯からなる小さな地域です。ご多分にもれず高齢者の占める割合が高くなっています。兼業農家が多く、年々農地の維持管理が厳しくなり休耕田も増えてきました。この現状をふまえ地域ならではの農地保全のあり方や住民の安全・安心を図る方法を自治会では試行錯誤してきました。ここ最近の主な3つの活動を紹介します。

3年前「里山保全会」を立ち上げました。手始めは地域にある溜め池の池干しです。ほぼ50年ぶりとのことであまりの多数の外来魚に驚くも、珍しい水生生物もいるとの大学の先生方による説明に、まだまだ豊かな自然が息づいていることを認識しました。この活動にはボートや網等の準備や炊出しで、多数の住民の協力がありました。もちろん近くの子ども達も多数参加し魚捕りを楽しみました。次年度には休耕田を活用し芋植え・芋掘り、レンゲ田にて虫捕り観察と続けました。竹を使ったパン作りや防災食作りの体験も加え、世代を超え1人でも多くの人が関われる活動を試みています。こうした活動が評価され、今年1月に中四国農政局長賞をいただきました。

2つ目は昨年度からは高齢者が集う場として「あいあいサロン」を月1回開催し、互いに健康寿命を延ばそうと軽い体操やゲーム、お喋りを楽しんでいます。毎回季節感を盛り込んだ企画は工夫がなされ、和やかな雰囲気が育ちつつあります。

3つ目はネットを通じて内外に地域の情報を発信する電子町内会も始めました。行事のお知らせ・報告のみならず日常の情景の写真やコメント等地域に根ざした内容が担当役員により精力的に発信され、徐々に関心が広まってきています。

こうした活動の働きかけによりこの地区に改めて目を向け、関わることで住民のつながりが深まるのではないかと考えます。その深まりが、いざという時の重要な役割を果たせる組織作りにつながればと願っています。



竹パン作りの様子

平井の地域づくり活動

平井学区連合町内会
会長 那須 和夫

平井学区は旭川の東岸にあり、北に操山を控えた川と山とに囲まれた自然豊かな地域です。人口は微増ながら毎年増え続けており、各種の教育機関も多く、活気にあふれています。

「みんなが元気なまち平井」を目指して3年前から「平井学区地域づくり会議」がスタートしました。アンケートで浮かび上がったのがお年寄りと子どもの課題、この2つが活動の両輪です。

お年寄り対策としては、認知症の予防のための「オレンジカフェひらい」が地区の東山公民館で毎月開店します。認知症に関心のある方や家族に患者を抱えた人などがコーヒーを飲みながら悩みを話し合ったり、演芸や歌、講演、食事などを楽しんでいます。

学区内の山陽学園大学の学生たちもカフェのウエイトレスや裏方として参加してくれ、彩りをそえてくれており、お年寄りたちも「若返る気分」と満点の笑顔を見せています。

子ども対策としては「プレイパーク」が人気と注目を集めています。遊び場の少ない子どもたちに自然の中で思い切り遊べる場を提供しようという狙いで、学区内の操山にある県立成徳学校の山林を舞台に木工教室や目隠しをして林を歩く暗夜行路、ブランコ、焼きマシュマロなどの遊びを親子で楽しんでもらっています。春と秋の年2回を目標に取り組む予定です。子どもたちはドングリを拾ったり、タケノコをとったり、プログラムにない遊びを見つけて大はしゃぎです。

このほか「何事も健康が一番」と健康づくりにも気を配っています。

山陽学園大学・岡山旭東病院の協力で定期的に健康チェックの日を設定し、公民館で血圧や体重測定のほか、専門の機器を使って認知症や骨密度のチェックをするなど住民の健康増進をバックアップしています。

こうした多彩な地域づくり活動が平井学区の元気の原動力となっています。



なごやかな雰囲気の
「オレンジカフェひらい」

我が町豊学区

豊学区連合町内会
会長 赤枝 和寛

豊学区は、吉井川の下流左岸に位置し、過去においては千町平野と呼ばれ、広大で豊かな水田が広がっていましたが、岡山市東部の活性化の拠点づくりと共に西大寺地域の活性化を図る為、新産業ゾーンの整備が進められてきました。

新産業ゾーンには、製造業、研究・試験機関、情報サービス・デザイン企業等が配置されその一角に公共下水道吉井川浄化センター、東部クリーンセンター（ごみ焼却施設及びごみリサイクル施設）余熱利用施設として健康増進施設が併設されました。新産業ゾーン内は勿論のこと周辺市街化区域内の公共下水道の整備も進み排水路の水質も向上してきました。クリーンセンターでは岡山市東部地域及び周辺地域のごみの焼却、発電（売電）、余熱利用として西大寺健幸プラザの温浴・プールに供給され、地域の健康と憩いの場となっています。

新産業ゾーン周辺には住宅・コーポの増加が著しく環境は一変し、これにより核家族化が進み住民の連帯感が希薄になる中、夏には「とよふれあいまつり」が行われています。各町内会や各種団体による屋台の出店、2千人もの老若男女が賑い、地域の人々の楽しみな行事の一つであります。また、地区の応援を受け懸命に競う「豊学区体育大会」や、子どもから老人まで世代を超えた多くの人が集う地域に言い伝えのある小さな祠、その地域のちょっとした自慢のものを探し、古きに思いをはせ、自然に触れ合う「豊学区ええとこ再発見健康ウォーキング」を行っています。

地域の開発と発展に伴い水田は減少し、住処を失い減りつつあるダルマガエルの保護と観察に「とよダルマガエルを見守る会」会員と共に小学校の生徒も取り組んでいます。

地域の真ん中にそびえる高さ100メートルのシンボルタワーであるクリーンセンター展望台からの眺望は素晴らしく地域の変革とこれからの発展をいつまでも見守って行くことでしょう。



とよふれあいまつりの様子

曽根学区ふれあい祭り

曽根学区連合町内会
会長 小寺 範明

曽根の歴史は、今から195年前、児島湾を干拓し興除新田が出来、その後提外が開墾され今の姿になりました。干拓地の特色を生かした米麦、野菜を生産する純農業振興地域です。一方、市内中心部、水島工業地帯に近いという利便性で、新たに住居を構える非農家の方々が増えており、新旧住民が住む田園地帯が曽根学区の現状です。

曽根ふれあい祭りは今年で22回を迎えますが、発足の動機は、当時の連合町内会長が、何か学区を一つに纏め、活性化させるものはないかとの意向があり、当時の小学校PTA会長を中心に様々な意見交換、議論を重ね検討の結果「ふれあい祭り」に取り組む事となりました。当初の有志三人により企画・運営を行っていたが、軌道に乗ったので、小学校PTAの執行部に引渡し、現在は総括責任者（コミュニティ協議会会長）の下、実行委員会中心で企画運営する体制が整えられました。また、実行委員会には各種団体を2つのブロックに分けることで、将来を見越した有機的、機能的な態勢が確立されています。

祭りは小学校の校庭で行われ、祭りの催し物では、和太鼓による開会セレモニーに始まり、保育園児の踊り、子ども会の出し物、ピング大会、各種団体による総踊り、茶屋町鬼保存会による鬼ばやしでのフィナーレ、そして、皆が期待している大抽選会等盛り沢山な内容です。特に、保育園児の踊り、子ども会が担当している総踊りの太鼓囃子は、祭りに向けて練習を重ね会場を盛り上げてくれています。愛育委員会の無料そうめん流し、また、テント販売では、おやじの会のいか焼き、栄養委員によるワカメたっぷりのうどん等趣向を凝らした飲食物等を各種団体が競って販売しています。ふれあい祭りで学区民が相集い、地域の絆を深める場となり、そして老若男女を問わず誰でもが楽しめる祭りとなるよう心掛けています。

祭りの企画運営の協議は、5月に準備委員を立ち上げ、実行委員会を3回に亘り開催し、関係者のベクトルを合せ、祭り本番に備えます。そして、実行委員会で反省会を行い、良かった点、反省点を出し合い、皆の知恵で現状よりは更に良くするよう改善し、スパイラルアップすることで、人的面も含め曽根学区の財産になればと思います。



曽根学区ふれあい祭りの様子

地域の高齢化に伴う雑感

桃丘学区連合町内会
会長 辻 博明

WHOによると、高齢化率が7%を超えると「高齢化社会」、14%で「高齢社会」、21%で「超高齢社会」とのことです。桃丘学区は高齢化率32.1%なので超高齢社会です。学区の高齢者は健康寿命の延伸に努めているので、5年後には40%を超えると予想されます。

1980年頃、日本の高齢化スピードが話題になりました。高齢化率が7%から14%へ要した期間を国際比較した資料によると、フランスは115年、スウェーデンは85年、最も短いドイツでも40年でした。

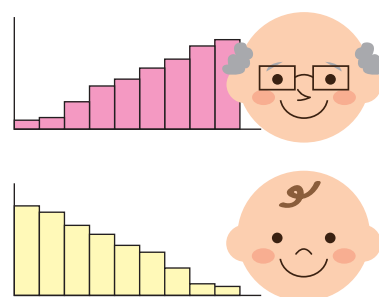
これに対して、日本はわずか24年という短期間に「高齢社会」となるため、社会制度を「高齢社会」に向けて変えていく時間が足りないとの警告を含んでいました。そして、高齢化は少子化を伴い生産人口が減少し、移民に頼るようになるとの指摘もありましたが、大きな反響もなく、1994年に14%、2007年に21%を超え、世界に先駆けて超高齢社会に突入しました。

総務省は、活力ある超高齢社会の実現には、多くの高齢者が可能な限り長く自立して暮らし、その知恵や経験を活かして積極的に社会参加できるよう、「健康寿命の延伸」を図ることが重要としています。

しかし、公表されている平均寿命（0歳の平均余命）

と0歳の健康寿命を延伸することは結果の見えにくい活動です。身近な70歳、75歳、80歳、85歳の平均余命と健康寿命を公表すれば、今よりも身近なものになります。例えば、80歳の平均余命は男性8.9歳、女性11.5歳だから、平均生存年齢は男性88.9歳、女性91.5歳となります。80歳の健康寿命は男性86.9歳、女性87.6歳なので、不健康な期間は男性2年、女性3.9年です。80歳の人たちが「健康寿命の延伸」に努めれば、不健康な期間を0年にすることも可能です。

社会の変化は地域で先行し、地域は否応なくその対応を迫られます。行政は知恵と経験を結集した、いわば地域の自由な活動を尊重する度量の広さを持つてほしいものです。



過保護化社会に警鐘を

旭操学区連合町内会
会長 徳田 忠顕

ボヤキと言われるかもしれませんが、電車に乗っていただちを感じるがあります。

目の前に一つだけ席が空いています。

- ・上司と部下がいれば、上司が座るでしょう。
私は正しいと思います。
- ・師匠と弟子がいれば、師匠が座るでしょう。
私は正しいと思います。
- ・お年寄りと若手がいれば、お年寄りが座るでしょう。
私は正しいと思います。
- ・母と子どもがいると、なぜか子どもが座ります。
私はこれがわかりません。

また、会社に新人社員の親から「今日は風邪を引いたので休ませます」と連絡がはいたり「ウチの子の残業はきつすぎる」とクレームがつく昨今だといえます。世も末です。

会社では、部下の言うことに耳を澄ましつつ、同時に部下を育成しなければなりません。

育成とは、決して部下をあまやかすということではありません。間違いはわかるように指摘し、しかることも大切です。このようなことは常識です。

会社では厳しさをもって部下教育をしていますが、家庭でそうできているとは限りません。

核家族でもう一つ上の年代からの教えが少ないのか、少子化で可愛がりすぎるのか、それとも我々男性が家のことから逃げてしまっているせいなのか、はたまた学校の先生が言わないためなのか。そのあたりのことはよくわかりませんが、わが国の躰が、親がおかしくなっています。

随分生意気に聞こえますが、そろそろ会社人間も、このことに腰を上げなければなりません。

それには会社でやっていることのほんの数分の一を家庭で実践すればいいと思います。会社の厳しさの数分の一を家庭で求めれば済む話ではないかと思います。

仮に、すでに子育てに失敗した人であっても、まだまだ遅くありません。あなたの子どもはいずれ父になり、母になります。新米の父母も子どもが可愛いに違いありません。だから将来の孫のために、自分の子どもに語ってやるべきでしょう。

会社での部下教育のほんの一部を家庭に転用するだけで、いい家庭が増え、住みやすい社会になるのではないのでしょうか。



地域の活性化と安全・安心の町づくりを目指して

角山学区連合町内会
会長 西方 立夫

角山（つのやま）学区は、岡山市の東の玄関と言われた上道地区の南部にあり砂川と吉井川に囲まれた長閑な田園地帯で小鳥の森・上道公民館も学区内にあるが、高齢化率が約39%と高く、東区の中でもトップクラスです。

そこで、コミュニティ協議会を中心に皆で知恵を出し合い、本当の「区づくり事業」に取り組み、角山振興まつり「食と芸術の文化祭〜クワンマイアートフェスティバル」を9年前に立ち上げ、地域の活性化に努めています。

学区内には、会社・事業所が少なく協賛金が集まらず、補助金のみでは実施が難しく、全世帯から百円の協力金を頂き、少ない予算で、子供たちの思い出に残る楽しいイベントになるよう頑張っております。一方、安全・安心の町づくりでは、13年前に「安全・安心を守る会」を立ち上げ、登下校の見守り活動・青パトによる見守り・防犯カメラの設置・防災マップの作成・学校と地域が一体となつての防災訓練等を行っております。

この度の西日本豪雨では角山小学校が6回目の避難所として指定され、砂川決壊の前日には35名の方が避難されておりました。しかし、7月7日未明の砂川堤防決壊による甚大な被害が発生し、避難所は体育館から校舎2階、ボートで脱出して西大寺小学校体育館にお世話にな

りました。このような災害で、幸いにもけが人が出なかったことは不幸中の幸いだったと思います。

この災害を機に防災意識の更なる高揚と砂川の早期改修実現に向け活動して行かなければならないと思います。

さらに、過疎化が進み、学区には病院もスーパーも無く、鉄道や路線バスもなく生活・活動する人が不自由です。「生活交通を考える会」を立ち上げ、都市整備局交通政策課と協同で生活交通の早期運用に向けて取り組んでいます。

砂川堤防の決壊により被災された方々に心からのお見舞いを申し上げるとともに、一日も早い復旧をお祈りします。



学習発表会

「暮らし易い地域づくりと政治家の役割」

妹尾学区連合町内会
会長 樋口 正信

妹尾学区には、大小併せて62の単位町内会があります。そのうち会長が1〜2年で替わる町内会が半数を占めており、地域・暮らしに対する考え方も多様化しております。連合町内会としては、各町内会の意見をまとめて運営するのが「地域づくり」の原点であります。

私は役員の皆様と協働して、「住民の皆様が妹尾に住んで良かったなと思えるまちづくり」を信念として、1つは、「人と人との絆づくり」。2つ目は、生活環境の整備に力点を置き10年努力致しました。「人と人との絆づくり」では、単位会長との信頼関係の増進を図るため、学区を4ブロックに分けブロック会議を開き、単位会長とのコミュニケーションの増進に努めると共に、さくら祭り等の地域行事を通じて地域の一体化を図って参りました。

又、「生活環境の整備」は、妹尾地域は、道路が狭く、用水路が無数にあり、岩盤が多く、特に市街地は住宅が密集して、根本的には再開発しなければ課題の解決になりませんが、各町内会の要望事項を何とかクリアして改良を進めて参りました。

具体的な事例では、カーブミラー等の交通安全対策、道路の舗装改良、待避所の設置、用水路の蓋掛け、老朽化した水道管の取り換え、公共下水道の促進等、又日照権及び単身高齢者の終末ケアの問題等住民生活に係る

問題に対応しています。

特に、どうにもならないのが、通学路沿いの空き家・空地等の不動産に係る問題です。

ここで、政治家に物申したいことは、「もっと政治家は社会に敏感であれ!」ということです。「長年放置されている不動産の所有権を公共化する」法律があれば解決する問題だと思うのです。

その他にも、議員定数の削減や、道路交通法を改正して危険運転をしたものは免許停止すること等、時代の変化に伴い国民生活に不具合な法律を早急に整備し、真に国民が「安全で安心して暮らせる地域づくり」を実現するために政治家の果たす役割は、山ほどあると思います。



空家の様子



蓋掛け予定の用水路

わが町の『防災まちづくり』

芳泉学区 福田町内会
福田自主防災会 顧問 田中 孝

芳泉小学校区は近年子育て世代の転入が顕著であり人口は2万人を超えています。福田町内会もまた約6000人を抱える単位町内会です。

15年前、マンモス化する町内会の運営に苦慮しながら『安全・安心なまちづくり』に向けた取組みとして、福田自主防災会の立ち上げを決め、その後も地域安全パトロール隊・まちづくり委員会結成など新たな事業への展開を試みました。また、学区連合町内会・各種団体・学校・公民館等との連携を深めることで、地域力向上を目指すことを旨としてまいりました。

さて、自主防災会は行政から作れと云われて設置した感は否めません。もとより町内には自衛消防組織があり、差異はどこにあるのか?という意見もありました。しかしながら、昨今の自然災害の脅威は尋常ではありません。必ず来ると云われている南海トラフ地震をはじめ、激しさが常態化する自然災害や地域環境を知れば知るほど不安が募ってきます。本気で取り組む、防災・減災活動の実践が肝要です。

福田自主防災会では、地域の防災意識を高めるために毎年度、図上訓練(DIG)や防災実地訓練を実施し、学区主催の防災訓練や防災セミナー等へ積極的に参加

し、協働の輪を広げているところです。

ある防災本を読んでいて共感を得た言葉があります。「『防災まちづくり』とは、防災(専門家)がまちづくりをするのではなく、防災をまちづくり(自治会・住民等)がすること!」と書かれていました。つまり『防災は私たち地域住民が主体となって推進する』ということでしょう。

改めて町内会の為すべき役割は大きいですが、防災を切り口に地域コミュニティの再構築ができればと願います。



防災への入口となったDIG訓練



防災実地訓練(要救護者搬送)



防災訓練 案内チラシ

女性の力で地域を元気に!

岡山市連合町内会 男女共同参画専門部会
部会長 大和田 黎子

インターネットで見た情報です。ある県のある町内会で町内会長が辞任し、その後任に、女性が町内会の推薦を受けて、会長を引き受けました。町内会の人や家族の協力もあり、会長は高齢化した町内会の見守り活動の仕組みをみんなと一緒に考え、町内会を元気にしました。その県の女性町内会長は1%足らず。「女性の力で町内会を元気に!」と地域づくりにもっと女性の力を活かそうとPRの一環でした。

憲法に自由平等が保障されていても、長い歴史に形成された男性中心社会に女性が進出することは簡単ではありませんでした。当たり前の権利を手に入れるために、多くの女性が声を上げて戦いました。国家が動き、男女雇用均等法、男女共同参画基本法、すべての女性が輝く社会づくり等で、女性を受け入れる仕組みづくりを推進した結果、現在では多くの分野に女性が活躍する姿が見られるようになりました。

岡山市連合町内会に男女共同参画専門部会が設置されて十余年、地道な活動を重ねた結果、女性町内会長は3%から5%強と増加し、女性ならではの特性を発揮して活躍しています。しかし、圧倒的に多い男性町内会長の中で、単位町内会の上層部の学区(地区)連合町内会長は13年前まではゼロで、その後1人となりました。現在は96人中1人です。

岡山市連合町内会は包括的な住民自治組織として、平穏で安らぎのある良好な地域社会の維持及び形成に向けて、事業方針を決定しますが、生活者の半分以上を占める女性の視点や意見が反映されているとは言い難い状況です。

男女共同参画社会の実現に向けて、女性連合町内会長がせめて5%位になるまで、漸次的手段として、昨年度、男女共同参画専門部会の女性部員(現在5名)を岡山市連合町内会理事として特別枠を設けてほしいと組織のあり方検討委員会に申し入れました。回答は、「岡山市連合町内会規約は女性を排除、差別していない。女性の町内会長がたくさん増えて、連合町内会長になるよう努力が必要。したがって、理事の女性特別枠は設けない。」というものでした。

上層部組織に女性の視点・意見が必要です。女性のみなさん!町内会長にとの声がかかったら、勇気を出して引き受けて下さい。

あなたの勇気で男女共同参画社会の実現を一步進め、地域を元気にしましょう。

電子町内会 利活用コンテスト2018春

電子町内会全体の継続・発展を目的とし、優れたコンテンツ作成に尽力された町内会を表彰することで、より一層のコンテンツの充実を図るために、2018年春に利活用コンテストを実施しました。

＜結果発表＞平成30年5月中旬

●各町内会からそれぞれ3点のフォト(写真)及び会報誌をエントリーしてもらい、投票によって決定しました。

【フォト部門】



1位 牟佐町内会



2位 平井学区連合町内会



2位 富山学区連合町内会



2位 湊町内会

【会報誌部門】



1位 平井学区連合町内会



2位 牟佐町内会



2位 七日市町内会

●投稿記事数と投稿文字数が期間内に多かった3町内会をそれぞれ表彰しました。

【投稿記事数部門】		【投稿文字数部門】	
1位	母谷区自治会	1位	西学区連合町内会
2位	西学区連合町内会	2位	富山学区連合町内会
3位	牟佐町内会	3位	母谷区自治会

～電子町内会って、何？～

インターネットを利用して、町内会活動をはじめ、地域情報を広く発信するとともに、会員相互で町内会の身近な出来事の情報交換を行い、地域コミュニティの活性化や市民の情報化を進めていこうとするものです。

現在38の連合町内会と47の単位町内会が電子町内会に参加しています。

一度電子町内会のページをご覧ください、自分の町内会のページを探してみてください。

<https://townweb.e-okayamacity.jp/>



平成30年度岡山県自治会連合会定期総会及び全国自治会連合会理事会等について

平成30年6月21日岡山市役所7階大会議室において、岡山県自治会連合会定期総会が開催され、各自治組織の代表者が集まりました。

また、6月27日には、東京都板橋区のハイライフプラザ板橋において、全国自治会連合会の理事会や中四国のブロック会議等が開催され、全国の自治会組織の代表者が集まりました。

それぞれ、前年度の決算や監査報告及び新年度の事業計画や予算等が審議された他、国などの行政機関への要望事項の取りまとめを行うなど、地域住民の声を県や国へ届けるべく活動を行っていく事が確認されました。

また、お互いの繋がりを深めるべく、今年度の全国大会を11月に東京都で開催することも確認され、住民自治組織としての結束を再確認しました。



全国自治会連合会理事会の様子



岡山県自治会連合会の定期総会

アンテナショップ、ヘルシーカフェ、スポーツジム併設

健康複合施設
LOCOMOTIVE×コスデ・STATION

ココロも、カラダも
前向きに!

ダイヤ工業株式会社 〒701-0203 岡山市南区吉新田1125
TEL(086)282-1245 FAX(086)282-1246

社会福祉法人 寿恵会
特別養護老人ホーム 津高寮
(デイサービス・ショートステイ・居宅事業所併設)
岡山市北区津高436-1 TEL086-252-1100

飛岡 ひおか 内科

受付時間 月 火 水 木 金 土 日
9:00～12:30 ○ ○ ○ × ○ ○ ×
16:00～18:00 ○ ○ ○ × ○ ○ ×

往診・在宅医療の実施
岡山市北区中山下2-8-20
(086) **233-1188**

岡山市連合町内会の動き

◎定期総会＜関連記事P3＞（5月31日）

◎常任理事会

- ・第1回（4月23日）
29年度事業報告について 他
- ・第2回（6月18日）
三市姉妹交流会について 他
- ・第3回（7月20日）
岡山市町内会長等懇談会について 他
- ・第4回（8月27日）
岡山市町内会長等懇談会について 他

◎理事会

- ・第1回（5月11日）
29年度事業報告について 他
- ・第2回（6月29日）
三市姉妹交流会について 他
- ・第3回（8月6日）
岡山市町内会長等懇談会について 他
- ・第4回（9月3日）
岡山市町内会長等懇談会について 他

◎会計監査会議（4月23日）（7月23日）

◎専門委員会

- ・会報第32号編集委員会

（6月20日）（8月8日）（8月20日）（9月5日）

- ・ICT推進専門委員会（6月22日）
- ・広告取扱等検討委員会（7月19日）
- ・子ども・子育て専門委員会

岡山っ子育て成局との懇談会（8月10日）

◎岡山市長との懇談会＜関連記事P6＞（7月18日）

◎岡山商工会議所との懇談会＜関連記事P6＞（8月9日）

◎受賞報告

◇岡山市連合町内会会長表彰（5月31日）

- ・10年以上学区・地区連合町内会長の職にある方またはあった方
…6名(表彰状)
- ・15年以上単位町内会長の職にある方またはあった方
…12名(表彰状)
- ・5年以上学区・地区連合町内会長の職にあつて退職された方
…1名(感謝状)

◇永年勤続町内会長・区長等岡山県知事表彰（5月25日）

- ・岡山市関係…15名

◇春の叙勲（5月11日）

旭東学区連合町内会会長の
「渡邊學」様が自治会功労者に
対する叙勲を受賞されました。



渡邊學様

岡山県自治会連合会の動き

◎定期総会（6月21日）

＜岡山市役所7階大会議室＞

- ・平成30年度事業計画等の審議 他
- ◎正副会長協議（4月24日）（8月7日）

全国自治会連合会の動き

◎常任理事会 4月27日（東京都）

6月27日（東京都） 8月29日（東京都）

◎理事会 6月27日（東京都）

8月29日（東京都）



医療法人 洋友会

中島病院

内科・皮膚科

岡山市南区妹尾1878 ☎(086)282-0218

旭竜クリニック

内科・消化器内科・呼吸器内科
胃カメラ・大腸カメラ・CT検査

TEL. 086-275-6768

岡山市中区中島 70-1

岡山中央診療所 健康管理センター

健康診断・人間ドック・内科診療

TEL. 086-233-2222

岡山市北区柳町1丁目13-7

医療法人たぐふ会

〒701-0153 岡山市北区庭瀬947

岡山地下水調査(有)

TEL 086-292-8408

《地盤品質判定士補》
《地質調査技士》

地質調査全般
地下水調査

美しい街づくり おまかせ下さい!!

迅速!丁寧!低料金!

- | | | | |
|----------|---------------|----|---------------|
| 産業廃棄物 | 事業系ゴミ | など | 各種
ダストボックス |
| 一般家庭ゴミ | 引越しゴミ | | |
| 下水道処理 | 管路施設管理 | | |
| 浄化槽管理、清掃 | 各種ポンプ、プロウアー修理 | | |

(有)御津衛生センター

岡山市北区御津字垣1762-2

TEL 086-724-1184 FAX 086-724-4347



笑顔につづく、道を走ろう。

岡山トヨタ

〒700-0913 岡山市北区大供3丁目2-12
TEL:086-233-1112

詳しくは 岡山トヨタ

岡山トヨタのホームページで定期点検・車検のご予約、新車のカタログ請求ができます。

ROUND1 STADIUM



国道2号沿い妹尾交差点を東へ約900m

ROUND1 STADIUM

岡山妹尾店

無料駐車場台数520台

岡山県岡山市南区妹尾3413-1

TEL 086-282-8851

<http://www.round1.co.jp/>

がんばろう

上道地区!



城東台学区連合町内会

漢字クイズ

常識の4文字熟語と云われる知っておきたい熟語です。よみがなをつけてください。

- | | |
|------------------------------------|-----------------------------|
| ()
①画竜点睛 最後の重要な仕上げ | ()
⑥無欲恬淡 欲張らないこと |
| ()
②瓜田李下 疑われるような行為は避けたほうがよいこと | ()
⑦生殺与奪 相手を思うように支配すること |
| ()
③玉石混淆 賢人と凡人が入り混じって区別がつかないこと | ()
⑧九牛一毛 取るに足らないこと |
| ()
④牛頭馬頭 地獄の番人で極悪非道な人 | ()
⑨冷汗三斗 突然の出来事にうろたえること |
| ()
⑤隔靴搔痒 もどかしいこと | ()
⑩田夫野人 礼儀知らずの人のこと |

正解者の中から抽選で10名の方に粗品を進呈します。
〒住所・氏名を記入の上、下記までお送りください。

〈送付先〉〒700-8544 岡山市北区大供一丁目1-1
岡山市連合町内会 会報編集委員会

〈締切〉平成30年10月31日必着

〈発表〉発送をもって代えさせていただきます。

前号の答え

(部首)	(読み方)
① 厂	がんだれ
② 巾	はば(へん)
③ 辰	しんのたつ
④ 戈	ほこがまえ、ほこづくり
⑤ 豕	いのこ(へん)

編集後記

この度の西日本豪雨災害は、倉敷市真備町の被災が大きく報道されていますが、岡山市でも各地で災害が多発し、被災された方が大勢おられることはみなさま周知の通りです。心からお見舞いと一日も早い復興をお祈り申し上げます。私達は支援の気持ちを忘れず、この大災害を100年に一度ととらえるのではなく、近年の異常気象が常態化しつつあることを肝に銘じ、日頃から防災対応に向き合っていかなければなりません。

さて、本誌は今回号から横書版に変更しました。もともと中国文化を学んだ日本は文字が縦書の漢文からはじまりました。その歴史は三世紀の頃と言われています。そして時代はかなり進み、日本に蘭学が入ってきた18世紀末にはじめて横書文がお目見えしたそうです。いま目にするのは、縦書、横書半々位でしょうか。

本紙を横書としたのは、文字文化や歴史の流れからではありません。本誌は各町内会のご尽力によって回覧板に綴られて各家庭を廻って読まれております。その回覧板の多くは左側に止め具がついています。「縦書は左開きの為、綴じたら終わりの頁から開くようになるので読みにくい。横書とすれば右開きとなり綴じたら初めの頁から開くようになり読み

やすいのでは」との声が多々あり、前号と全く同じ内容の横書の同じサンプルを作るなどして検討の結果、横書へと変更したものです。変更に伴う諸説はつきものです。内容を含めてご意見をお聞かせください。

末筆になりましたが、今回も広告掲載にご協力戴いた協賛企業の皆様に厚くお礼を申し上げます。また、記事をお寄せ戴いたり、広告のお願いにご尽力戴いた連合町内会長をはじめ、関係者の方々には心より感謝申し上げます。まだまだ厳しい暑さが続きますが、どうかみなさまご自愛ください。

【編集委員長】長門 修二
【編集副委員長】小野 大作
【編集委員】多賀 克充・正保 弘行
竹井 秋人・谷 多賀巳

